

監視伝染病病原体と伝染病の名称の対照表

	病原体の名称		参考			
			伝染病の名称	監視伝染病の種類	BSL	
重点管理家畜伝染病病原体	1	モルビリウイルス属	リンダーベストウイルス(L株、BA-Y S株及びRBOK株を除く)	牛疫	家畜伝染病	3ag
	2	アフトウイルス属	フットアンドマウスディジーズウイルス	口蹄疫	家畜伝染病	3ag
	3	アスフィウイルス属	アフリカンスワインフィーバーウイルス	アフリカ豚コレラ	家畜伝染病	3ag
要管理家畜伝染病病原体	4	マイコプラズマ属	マイコイデス(亜種がマイコイデスであってSC株に限る。)	牛肺疫	家畜伝染病	3
	5	オルビウイルス属	アフリカンホースシックスウイルス	アフリカ馬疫	家畜伝染病	3
	6	モルビリウイルス属	ベストデプティルミナンウイルス	小反芻獣疫	家畜伝染病	3
	7	ペスチウイルス属	クラシカルスワインフィーバーウイルス	豚コレラ	家畜伝染病	3
	8	インフルエンザA属	インフルエンザAウイルス※1	高病原性鳥インフルエンザ	家畜伝染病	3
	9	インフルエンザA属	インフルエンザAウイルス※2	低病原性鳥インフルエンザ	家畜伝染病	2 ※3
届出伝染病等病原体	10	モルビリウイルス属	リンダーベストウイルス(L株、BA-Y S株及びRBOK株に限る)	牛疫	家畜伝染病	2
	11	ベシキュロウイルス属	ベシキュラーستماتي蒂斯アラゴアスウイルス	水胞性口炎	家畜伝染病	2
	12	ベシキュロウイルス属	ベシキュラーستماتي蒂斯インディアナウイルス		家畜伝染病	2
	13	ベシキュロウイルス属	ベシキュラーستماتي蒂斯ニュージャージーウイルス		家畜伝染病	2
	14	パストレラ属	マルトシダ(莢膜抗原型がB又はEであって、菌体抗原型がHeddlestonの型別で2又は2・5であるものに限る。)	出血性敗血症	家畜伝染病	2
	15	ブルセラ属	オビス	ブルセラ病	家畜伝染病	2
	16	マイコバクテリウム属	ボービス	結核病	家畜伝染病	2
	17	マイコバクテリウム属	カプレ		家畜伝染病	2
	18	レンチウイルス属	エクインインフェクシャスアネミアウイルス	馬伝染性貧血	家畜伝染病	2
	19	エンテロウイルス属	スワインベシキュラーディジーズウイルス	豚水胞病	家畜伝染病	2
	20	インフルエンザA属	インフルエンザAウイルス※4	低病原性鳥インフルエンザ	家畜伝染病	2
	21	エイブラウイルス属	ニューカッスルディジーズウイルス	ニューカッスル病	家畜伝染病	2
	22	サルモネラ属	エンテリカ(血清型がガリナルムのものであって、生物型がガリナルム又はブローラムのものに限る。)	家きんサルモネラ感染症	家畜伝染病	2
	23	ラディノウイルス属	アルセラパインヘルベスウイルス1	悪性カタル熱	届出伝染病	2
	24	ラディノウイルス属	オパインヘルベスウイルス2		届出伝染病	2
		25	インフルエンザA属	インフルエンザAウイルス(H3N8亜型又はH7N7亜型のものであって馬から分離されたもの(感染症法で定める新型インフルエンザ等感染症の病原体(以下「新型インフルエンザ等ウイルス」という。))を除く。))に限る。)	馬インフルエンザ	届出伝染病
	26	ベシウイルス属	ベシキュラーエグザンテマオプスワインウイルス	豚水胞疹	届出伝染病	2

※1 ①～③のいずれかであって、馬インフルエンザウイルス及び新型インフルエンザ等ウイルスではないものに限る。
 ① 週齢が満6週の鶏におけるIVPI(静脈内接種試験により得られた病原体の病原性の高さを表した指数をいう。)が1. 2を超えること。
 ② 週齢が満4週以上満8週以下の鶏に静脈内接種した際の当該鶏の死亡率が75パーセント以上であること。
 ③ ①及び②に掲げる要件のほか、血清亜型がH5又はH7であって、ヘマグルニン分子の開裂部位に複数の塩基性アミノ酸があり、かつ、そのアミノ酸配列が①又は②に掲げる病原体であると確認されたものと類似のものであると推定されること。
 ※2 血清亜型がH5又はH7であるものであって、ヒト以外の動物から分離されたもの(高病原性鳥インフルエンザウイルス、①～⑨の病原体、新型インフルエンザ等ウイルス及び馬インフルエンザウイルスを除く。))に限る。
 ① A/chicken/Mexico/232/94/CPA(H5N2)
 ② A-H5N9 TW68 Bio
 ③ A/duck/Hokkaido/Vac-1/04(H5N1)
 ④ A/duck/Hokkaido/Vac-2/04(H7N7)
 ⑤ A/duck/Hokkaido/Vac-3/2007(H5N1)
 ⑥ A/common magpie/Hong Kong/5052/2007(H5N1)(SJRJG-166615)
 ⑦ A/turkey/Turkey/1/2005(H5N1)(NIBRG-23)
 ⑧ rg A/bar-headed goose/Qinghai lake/1a/05[R]6+2(163222)
 ⑨ rg A/whooper swan/Mongolia/244/05[R]6+2(163243)
 ※3 血清亜型がH5又はH7であることは確認されたが、病原性が確認されていないものは、高病原性鳥インフルエンザウイルスであることが後から判明する可能性があることを踏まえ、当該病原体を動物に接種する場合にあってはBSL3の対応を要するものとする。
 ※4 ※2の①～⑨の病原体に限る。